

タマス8月号

facebook

ホームページ
URL: <http://www.tamasei.jp>

医療法人社団 楊華会 レンタルクリニック「たませい」
TEL: 03-6321-1515 FAX: 03-6321-1513 E-mail: rengaku@tamasei-net.jp

QRコード



医療法人社団 楊華会 レンタルクリニック「たませい」
TEL: 03-6321-1515 FAX: 03-6321-1513 E-mail: rengaku@tamasei-net.jp

ご利用者の紹介

氏名：G様（女性） 年齢：70歳代 介護度：要支援2 ご利用期間：2021年10月～現在

疾患名：脳梗塞後遺症 左片麻痺 平成24年4月発症。



現在の心身機能と生活スタイル

- 左片麻痺で左手は使用困難。左足に常に装具を装着して杖歩行で移動しています。
- 家族5人分の食事作りはG様の家庭内役割ですが、長く立っていられず休み休み行っています。
- 転んでしまうことが多く、転んでから立ち上がるのが大変です。

12月時点での課題

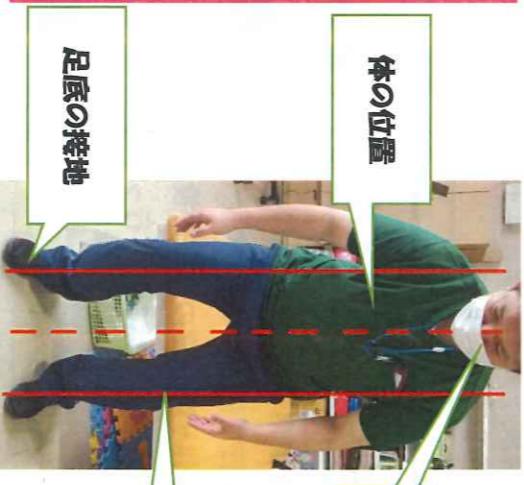
現在の課題

- 姿勢の改善のための意識の改革。姿勢の見直しと目標となる姿勢を鏡で確認。姿勢への意識付けができました。
- 床から立ち上がるための動作の獲得。実際の動作を反復して練習し、立ち上がりが困難な原因を確認しました。

動作分析のポイント

立ち上がり動作ポイント

麻痺側と杖の支持基底面から、体幹のねじる運動と上肢のひきつけにより立ち上がりを代償になっています。そのため、右下肢の力に頼った立ち上がり動作となっています。両下肢にバランスよく体重が乗切れてしまうと、麻痺側の参加が少なく、下肢、臀部の支えが乏しい状態となってしまいます。



個別化ハビリの要点！

- 麻痺側に寝返りを行うことで麻痺側全体へ体重をかけます。同時に体幹の回旋運動の練習を行います。
- 以前はできなかった麻痺側への寝返りが可能になりました。
- 自宅でもトレーニングしていらっしゃいます。
- バランスボードを使用し座って麻痺側への荷重を伸ばす練習を行います。
- 意識しないで麻痺側が伸びることがポイントです！
- 麻痺側で支える力が使いやすくなります！



麻痺側に体重が乗るように麻痺側全体から様々な刺激入力をします。



~立ち上がりのポイント~

座位で麻痺側に体重がしっかりと乗ることで立ち上がる際にも麻痺側の足に体重をかけやすくなります！



寝返り動作ポイント

- 頸部②体の軸回旋③肩甲骨の前方突出④体重移動⑤立ち直り反応の5つが挙げられます。

脊柱の変形や片麻痺などによる影響もあり、骨盤と上半身の分離が上手くできず、寝返りを行った際に木材のように転がる様子が見られます。

- ～5の動作のどこに問題があるのか、訓練が必要となります。



- ②④脚の動かし方
膝を立てるのか？
足底部で床を蹴るのか？

- ①視線の方向

- ②⑤骨盤と上半身の接觸運動

